

広報   
No.711  
令和5年

# いいたて

5  
2023



ただいま...



the most beautiful  
villages  
in japan

飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

目次 CONTENTS

- 2 話題「インスタで発信中！」
- 4 特集「長泥地区の避難指示解除」
- 10 学びの広場「入学式・入園式」
- 12 飯館百景「長泥の春景色」
- 14 お知らせ「村の新しい顔」
- 15 ほけんとふくし「地域包括支援センター」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 村からお知らせ
- 20 いいたてDIARY／ふれ愛館だより
- 21 いいたてイノサル通信
- 22 ふるさと資源 発掘図鑑
- 23 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／長泥の桜



今月の表紙

「ただいま」。スクールバスを降りた山口蒼葉(あおば)ちゃん。いいたて希望の里学園の新1年生です。迎えた祖母の高野恵子さん(前田・八和木)と、家の前に広がる菜の花畑を眺めつつ玄関へと向かいます。この日は気温が高く、菜の花畑の上をたくさんのモンシロチョウが飛び交っていました。「あ、テントウムシもいた」。春真っ盛りの飯館村です。

飯館村の魅力が色とりどりに発信されています

インスタグラムで、ふるさととの新たな一面を発見！

個人・施設・企業など  
それぞれの発信が楽しい

インスタグラムは、ウェブ上で登録者同士が情報を共有したり交流したりできる無料のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の一つ。飯館村でも、さまざまな個人、施設、企業などが、インスタグラムで情報を発信しています。テーマも多彩で、身近な場所や起きていざというときや村内で活動している皆さんの様子、イベント情報などを知ることができます。SNSを利用するにはアカ

ウンツの登録が必要です。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールして登録します(閲覧のみになります)がパソコン用のアプリもありません。SNSに馴染みがないという方は、すでに利用されているご家族などの協力を得るとスムーズかもしれません。左のページでは、村内施設の一部のインスタグラムを紹介しています。皆さんもぜひワクワクの情報に触れてみてください。

QRコードのミニ解説

QRコードは、電子決済や、ウェブ情報へのアクセスに、広く活用されています。左のページのQRコードをスマートフォンやタブレット端末のカメラで読み取ると、各インスタグラムのプロフィール画面にアクセスできます。インスタグラムを未利用の方は、事前にInstagram(インスタグラム)アプリのダウンロードとアカウント登録が必要になります。



カメラでQRコードを読み取り、画面に表示される接続先をタップします。



村内の旬な話題、村にまつわる様々な情報がアップされています。



いいたて移住サポートセンター  
e\_village\_life\_iitate



入浴施設を再開した「きこり」やキャンプ場の情報、四季の景色も◎。



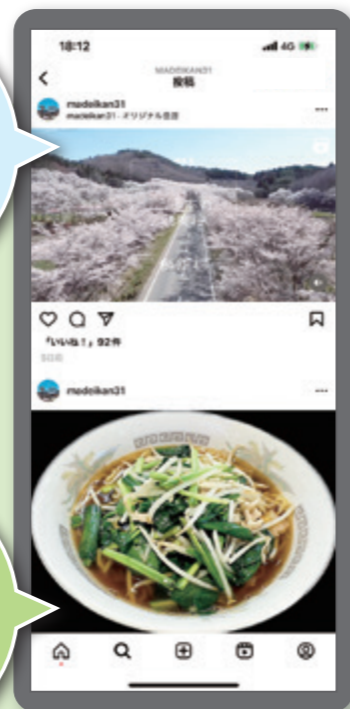
村民の森あいの沢・宿泊体験館きこり  
iitate\_kikori\_ainosawa



笑顔いっぱいの発信です。厨房の職員さん手作りの誕生ケーキに感動！



特別養護老人ホームいいたてホーム  
iitate\_home



道の駅のイベント情報はもとより、村内の四季の情景もアップ。



期間限定のレストランメニューの情報もいち早く知ることができますよ。

いいたて村の道の駅までい館  
madeikan31

今月の話題  
vol.35

特定のアカウント名を知らなくとも、例えば「飯館村」などのキーワードで検索し公開されている情報を見つけていくこともできます。



## 地域と住民の歩み



### 避難先で続いた交流

行政区の交流会をコロナ禍前まで毎年開催してきました。交流会の最後は、恒例で盆踊りの輪が広がります。交互に太鼓を打ち鳴らし、ふるさとに思いを馳せました。



### 環境再生事業への参加

地区内で環境省が実施した環境再生事業に地区住民の有志が参加。農業の技術を生かし、再生土壌に客土した農地におけるさまざまな実証栽培に協力しました。



### 復興組合の植樹

長泥復興組合が令和4年10月に長泥地区第1回植樹祭を開催。区民やボランティア等約100人が集い、竹谷とし子復興副大臣、杉岡村長らも記念植樹を行いました。



長泥行政区は、「帰還困難区域」となり先の見えない避難生活が続く中でも、ふるさとのつながりを大切に守ってきました。震災前からの強い絆、ふるさとへの深い愛着があったとしても、それは並大抵のことではありません。避難中に支援者と共に長泥記録誌編集委員会を立ち上げ、平成26年に「もどれない故郷なごどろー飯館村帰還困難区域の記憶」を刊行しました。



## 避難指示解除までの経緯

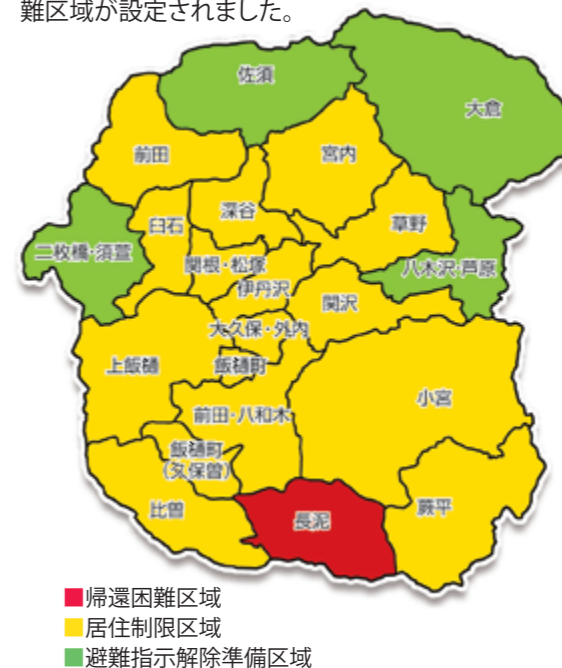
平成23年、東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響で、飯館村は同4月に計画的避難区域に指定され、全村避難となりました。翌平成24年7月には避難指示区域が見直され、当時の空間線量率に基づき長泥地区は村内20行政区で唯一「帰還困難区域」に指定されました。

平成29年3月に村内の「避難指示解除準備区域」「居住制限区域」の避難指示が全面解除されました。その時点で避難からおよそ6年が経過していました。

地区内に設定する「特定復興再生拠点区域」の除染や家屋解体などを行い、部分的に避難指示を解除する『飯館村特定復興再生拠点区域復興再生計画』は、平成30年4月に承認されました。

村は行政区と協議を重ね、拠点区域の『農の再生ゾーン』において、国の環境再生事業に取り組むなど復興に向かう挑戦を続け、拠点となるエリアの整備にも着手しました。また、区域外においても、環境省や内閣府が事業を実施した箇所を対象に、公園の整備や企業の誘致を行いました。

国が平成24年7月に避難指示区域を見直し帰還困難区域が設定されました。



解体前の旧長泥コミュニティセンター

- 平成23年3月 東日本大震災 発災
- 平成23年4月 計画的避難区域に指定～全村避難へ
- 平成24年7月 避難指示区域の見直し
- 平成29年3月 帰還困難区域を除く避難指示解除
- 平成30年4月 飯館村特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定
- 平成30年～ 環境省が長泥地区内で環境再生事業を実施
- 令和4年5月 長泥地区除染検証委員会 中間報告
- 令和4年9月 長泥地区で準備宿泊を開始
- 令和4年10月 長泥復興組合が長泥地区第1回植樹祭を開催
- 令和5年1月 長泥地区除染検証委員会 検証結果を報告
- 令和5年5月 長泥地区の一部避難指示解除

### 長泥地区除染検証委員会の報告

今年1月20日、長泥地区除染検証委員会の塚田祥文委員長が杉岡村長に検証結果の報告書を提出。「拠点区域における主な生活圏の空間線量率は低減が図られており、日常的に生活しても放射線被ばくリスクは十分に低くなっていることを確認した」と報告し、合わせて今後の管理に対する提言を答申しました。



避難先から通い敷地の手入れを続ける方も少なくありません



住民が草刈りなど手入れを続ける峠道のアジサイ

### 住民の方のつぶやきから

生まれ育った人にとってはここが原点なんだよね。来ればせいせいするもの。毎日のように通って敷地の手入れをしている人もいますよ。

自分の敷地に車を停めて横になっていました。鳥のさえずりが聴こえてきて、やっぱりいいなと思うんですね。

### 避難指示解除の決定

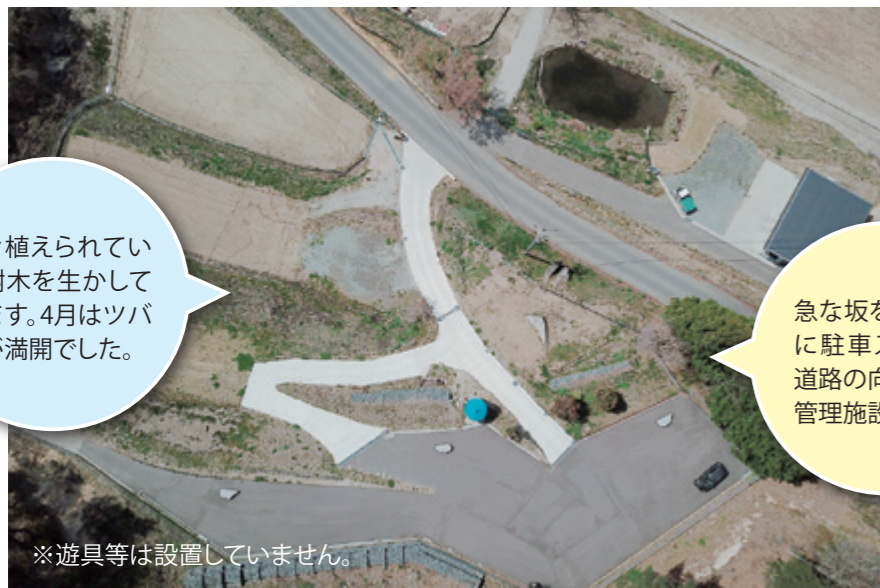
4月15日、原子力災害現地対策本部長の太田房江経済産業副大臣、鈴木正晃福島県副知事が来庁。協議を経て、村は5月1日の避難指示解除について国・県の同意を得ました。

その後4月25日、原子力災害対策本部において、避難指示解除が正式に決定されました。





下の道路からも見える青い屋根のサイロが目印。石のベンチもあります。



元々植えられていた樹木を生かしています。4月はツバキが満開でした。

急な坂を登った上に駐車スペース。道路の向かい側は管理施設です。

※遊具等は設置していません。

## 長泥曲田公園

特定復興再生拠点区域外の曲田地区に整備された『長泥曲田公園』。国が実施した線量低減化実証事業等の効果を継続的に確認し、地区の復興・再生に向けた取り組みの情報発信等を行っている場所として、避難指示が解除されました。『長泥曲田公園』も5月1日からは立ち入り可能な場所となっています。地権者及び長泥行政区の協力を得て整備した公園です。

## 整備に向けて準備を進めています 「資源活用型堆肥製造施設」整備計画

区域外の土地活用の一環として、曲田地区に資源活用型堆肥製造施設の誘致を計画しています。施設の運営会社となるイイタテバイオテック株式会社と村は、今年3月、行政区の立ち会いのもと、立地協定を結んでいます。

計画されている「資源活用型堆肥製造施設」は、熱風乾燥させることで資源化した廃棄物から堆肥を製造します。廃棄物を資源化する取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）に当てはまり、脱炭素にも貢献します。また、長泥地区に産業を創出することで、地域の活性化も目指します。



左からイイタテバイオテック株式会社の石原健二郎取締役、杉岡村長、嶋原新一長泥行政区長



施設イメージ

長泥地区の避難指示解除に向けて、復興の足がかりとなる施設を整備しました。設置に向けて準備を進めている堆肥製造施設の構想も合わせて紹介します。

## 長泥地区の新たな施設を紹介します

明日への一歩の足がかりとして

## 長泥コミュニティセンター



住民の交流の拠点として整備されました。自宅を解体した人の利用を想定し、キッチンやシャワー室も設置。非常電源など防災拠点としての機能も備えています。



畳敷きの和室もあります。



機能的なキッチン。



センター前のバーベキューハウス。



広々とした研修室。



道路沿いに公衆トイレを設置。※冬季は使用不可となりますのでご注意ください。



散策ができる広場。広場奥はグラウンド。



## 🌸 までの里のこども園 入園式

4月7日に園のホールで入園式を行い、5人の新入園児を迎えました。



0歳児1人、3歳児4人の合わせて5人が入園しました。三品勝彦園長が「保護者の皆様と職員達が心一つにして、手間ひま惜まずじっくりと“までい”に子ども達を育てていきましょう」とあいさつし、新入園児と保護者を歓迎しました。



### 入園おめでとう!



そら組さんが園歌を披露しました。



0歳児 わかば組



先生やお友達と一緒に楽しい毎日をご過ごしてね。



3歳児 たいよう組

## 🌸 いいたて希望の里学園 入学式

4月6日、いいたて希望の里学園の入学式が、同校体育館で行われ、6人の新1年生が入学しました。



少し大きめの制服に身を包み、胸を張って式に臨んだ新1年生を、在校生が温かな拍手で迎えました。亀田邦弘校長が式辞で「やさしく面倒見のよいお兄さんお姉さんのいる素敵な学校です。たくさんのワクワクドキドキが待っています」と語りかけ、在校生代表の小林七緒さんが「きれいな校舎で過ごす毎日とはとても楽しいですよ」と歓迎の言葉を述べました。



前列左から 関口聡先生、根本晃宏副校長先生、亀田邦弘校長先生、渡邊秀一先生、荒高史先生、後列左から 佐藤季先生、後藤かおり先生、猪狩百香先生、三岡優依先生、主事の加藤みゆさん

学園に着任された先生方を紹介します  
令和5年度、新たに着任された先生方です。前年度副校長の亀田邦弘先生が、新校長に着任されました。着任式は4月4日に村役場で行われました。式の最後に行われた自己紹介では、先生方が村の子ども達への思いや新年度の抱負を語り合いました。

🌸  
新しいALTの先生も着任!



### HELLO!

「ALT (Assistant Language Teacher/外国語指導助手)」のジョアンナ・マリイ先生も着任しました。ジョアンナ先生はフィリピンの出身で、パンパンガ州立の農業大学で英語を専攻していました。一緒に学べる授業が楽しみです。

新年度を迎えた学園とこども園で入学式・入園式が行われました。





国道399号線で前田・八和木方面から長泥地区に入ると、すぐにつづら折りの峠に差し掛かります。4月中旬、並木の桜花が峠を覆うように咲き誇り、長泥に春の訪れを告げていました。

# 飯舘 百景

## 長泥の春景色



峠から望む桜。例年より2週間以上早く咲きました。



住民が震災前から植えていた水仙の群生も満開。



春風がそよぐ白鳥神社の参道。奥に桜が見えます。

「長泥の桜」は、特定復興再生拠点区域等の避難指示解除を間近に控え、層誇らしく咲いているように見えました。

有志が手入れを続ける白鳥神社の周辺にも、春の花がほころび、神社から比曾地区に抜ける県道沿いには、白や黄色の無数の水仙が折り重なるように咲いています。

自宅周りの草刈りに通う人も少なくなり、地区の方によると「帰還困難区域でありながらこんなにきれいな場所は見ることがない」と言われてきたそうです。「花の郷」の復活を目指し、「長泥復興組合」による花木の植栽も昨秋から始まっています。

12年もの長い間、閉じられていたゲートが開きました。来年はどんな花の季節を迎えるでしょうか。

4月半ば、長泥地区に、春爛漫の景色が広がっていました。

国道399号線から地区に入ると、すぐに峠に差し掛かります。そして、峠道に沿って桜並木が続きます。地区の皆さんが協力して下草を刈り、弱った枝を切り、避難が続く中で、守り続けてきた「長泥の桜」です。満開の枝をくぐりながら峠を降りて行くと、中腹には「ようこそ花の里長泥へ」と刻まれた石碑。

高齢者とそのご家族の総合相談窓口です **飯館村地域包括支援センター**

飯館村伊丹沢字伊丹沢571番地(いちばん館) ☎0244-42-1626

地域包括支援センターは、65歳以上の高齢者の総合相談窓口です。スタッフは保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士を中心に構成されています。「どこに相談してよいか分からない」「体調に不安がある」「物忘れが増えた」「介護のことが心配」「財産管理が不安になってきた」など、お気軽にご相談ください。

さまざまな講座や集いも開催しています  
どうぞお気軽にご参加ください

**認知症サポーター養成講座**

認知症の方やそのご家族を温かく見守り、それぞれができる範囲で手助けをする「認知症サポーター」の養成講座を開催しています。

**ゆずカフェ**

認知症の方やそのご家族など、どなたでも自由に参加できる集いの場。日頃の悩みの相談や情報交換をしながら、おいしい飲み物でホッとひと息しませんか。

**行政区サロンなどで教室を開催しませんか**

地域包括支援センターでは介護予防に役立つ様々な教室を開催しています。お食事のこと、お口の健康のこと、運動についてなど、ご希望に沿って対応いたします。ぜひご利用ください。

教室名	内容
100歳体操講習会	理学療法士による体操の講習会。身体の動かし方を丁寧に説明します。
転倒予防教室	転倒を防ぐための運動や転びにくい環境づくりについてお話しします。
栄養教室	食べる大切さや、何をどの位食べればよいかを分かりやすくお伝えします。
口腔ケア教室	お口の役割や歯磨き、誤嚥性肺炎についてお話しします。
認知症予防教室	普段の生活の中で認知症を予防できる工夫をお話しします。
シニアドライバーのための健康教室	車の運転を続ける為に、運転はしなくても車に乗ってお出かけをする為に、どんな生活を送るとよいかお話しします。
権利擁護・消費生活講座	「悪質商法・なりすまし詐欺対策」「終活ってなに?」「成年後見制度の知識」など、県消費生活センターなどの講師がお話しします。



宮内行政区「栄養教室」



草野行政区「口腔ケア教室」



前田・八和木行政区「認知症予防講座」

**村の新しい顔**

令和5年4月1日から採用となった村職員と、応援をいただく国・県などからの派遣職員の皆さんを紹介します。

趣味は音楽(楽器演奏)です。



村民の皆様へ安心を届け、飯館村の発展に貢献できる職員を目指します。

飯館村新採用職員 飯樋町出身  
村づくり推進課商工観光係 巻野 凌

趣味はバスケットボール観戦です。



日々精進の気持ちで、楽しみながら業務に取り組む所存です。よろしくお願ひします。

飯館村新採用職員 上飯樋出身  
総務課総務係 豊永拓也

飯館村は自然が豊かで人の心も豊かです。



早く仕事に慣れてお役に立てるようになりたいです。

復興庁応援職員 会津坂下町出身  
建設課土木係 小嶋 実

趣味はサッカーです。



足立区役所から派遣で参りました。出身は飯館村です。精一杯頑張ります。

東京都足立区派遣職員 伊丹沢出身  
村づくり推進課商工観光係 伊藤 優

「夢は見るものではなく、叶えるもの」とりあえずやってみる」がモットーです。



常に広い視野を持ち、今自分は何を出来るかを考え、みなさんのお役に立ちたいと思います。

飯館村新採用任期付職員 川俣町出身  
総務課総務係 深沼 慶

趣味はドライブ、ツーリング、山歩き、スキー。「人生は一度きり」がモットー。



青森県で30年間勤めていた会社を早期退職し、生まれが北塩原村とのこともあり、福島の復興のために飯館村で頑張ります。

福島県任期付職員 北塩原村出身  
建設課土木係 小原 司

モットーは「笑う門には福来る。押せば命の泉湧くワッハハハ」



村民の皆さま、村の子どもたちの幸せを一番に考え、自分もワクワクしながら一生懸命働きます!!

飯館村新採用任期付職員 福島市出身  
教育課学校教育係 高橋 雅子

「人は人との関わりの中で育つ」人は生涯発達する存在である」をモットーにしています。



子どもが健やかに育つことandみんなが幸せになれるといいな。微力ながらお役に立てるよう皆さんと一緒に頑張ります。

飯館村新採用任期付職員 福島市出身  
健康福祉課福祉係 八代千賀子



## 横山分署長、横倉警部補が 4月1日付で着任しました



消防飯館分署の横山分署長(左)と飯館駐在所の横倉警部補。お世話になります。よろしくお願ひします。

南相馬消防署飯館分署に4月1日付で横山義幸分署長が着任されました。「地域の安全・安心を目指し、消防行政サービスの向上、飯館村が益々明るく、楽しい、元気な地域となるよう職員一丸となり取り組んでまいります」とごあいさつをいただきました。

また飯館駐在所には、横倉浩二警部補が着任。「村民の皆さんはやさしくていい方ばかり。駐在所の協議会の方々もとても熱心だと感じました。犯罪のない安心・安全な地域づくり、交通事故防止に、皆さんと共に取り組んでいきたい」と話されていました。

## 脱炭素×復興まちづくり プラットフォームの設立総会

3月23日、大熊町の交流施設「linkる大熊」(リンクルおおくま)で、「脱炭素×復興まちづくり」プラットフォームの設立総会が行われました。この新たなネットワークは、被災12市町村の地方公共団体、関連団体、民間企業、研究機関などが連携し、脱炭素化を組み込みながら、復興・再生の“まちづくり”を推進していこうと、環境省が事務局となり立ち上げたものです。設立総会には飯館村をはじめ200以上の団体が参加し、長期的な連携の意義を共有し、意見交換などを行いました。



会場参加の他、オンラインでの参加もありました。特色ある地域循環共生圏の創造を目指します。

## 飯館村消防団春季検閲式 消防分署駐車場で開催



規律訓練を行い整列した団員の皆さん。杉岡村長、赤石澤団長らの検閲を受けました。

4月23日、南相馬消防署飯館分署の南側駐車場で『令和5年飯館村消防団春季検閲式』が行われました。式には消防団員81人、役場消防隊9人の計90人が参加しました。4月1日に入団した原田朋さん(深谷)も消防団員として式に臨みました。式では赤石澤傳団長(飯樋町)が「消防団には地域の安心・安全を確保する責務があります。新入団員が年々少なくなるなど取り巻く環境は厳しくありますが、引き続き関係機関と連携を図りながら、全力を挙げ火災防御に努めます」と述べ、団の士気を高めました。

## 役場庁舎入口のバリアフリー 工事が完了しました

3月下旬、村役場入口の工事が完了しました。この工事で、玄関ポーチの段差を解消し、続く駐車スペースに優先駐車場を設置しました。また、優先駐車場とポーチの間にアスファルト舗装の通路を設け、石畳の部分を通らなくとも、車椅子などでスムーズに移動ができるよう改善しました。優先駐車場は、歩行が困難な方々に優先的にご利用いただく駐車スペースで、乗り降りがしやすいよう両脇の幅も広く設定しています。この工事は議会の提案を受け、令和4年度の事業で実施しました。



車の乗り降りや歩行が困難な方に優先的にお使いいただける駐車スペースを入口近くに2台分設けました。

## 株式会社ハシドラッグと 生活環境向上に係る協定を締結



橋浦代表取締役社長(右)が「日用品や医薬品の他、村農産品の販売にも役立ちたい」と話しました。

村は、県北地方を中心にドラッグストアを展開する株式会社ハシドラッグ(福島市)と、『飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定』を締結しました。今後はこの協定を元に協力体制を整え、協議を行いながら村内の生活環境の向上を目指すと共に、地元企業とも連携を深めて地域経済の振興にも取り組んでいきます。

協定の締結式は、4月24日に村役場で行われ、杉岡村長と同社の橋浦希一代表取締役社長が協定書に署名し、基本協定を締結しました。

## ろうそく作家の大槻美友さんが 地域おこし協力隊を卒業

上飯樋地区の古民家を改装したアトリエ『工房マートル』で活動するろうそく作家の大槻美友さん(草野)が、3月31日に飯館村地域おこし協力隊を卒業しました。卒業式は同28日に村役場で行われ、職員や協力隊の仲間が見守る中、杉岡村長が大槻さんに卒業証書を手渡しました。

大槻さんは「あっという間の3年間。村民の皆さん、役場職員の皆さんに温かく接していただき、本当にお世話になりました」と感謝を述べました。大槻さんはこれからも村内で活動を続けていきます。



3年間の任期中、幅広い活動で村に賑わいをもたらしていただきました。今後共よろしくお願ひします。

### 追加賠償の請求について

東京電力ホールディングス株式会社が、中間指針第五次追補に伴う追加賠償の請求受け付けを行っています。世帯分離の有無及び郵送先住所の確認のため、まずはコールセンター(☎0120-926-470)に電話をしてください。

なお、専用サイトからも、変更手続き及び請求を受け付けています。



▲専用サイト

◀ 4月に全戸配付されたチラシをご確認ください。

### ふるさと帰還通行カード

「ふるさと帰還通行カード」による高速道路の無料措置が、令和6年3月31日まで延長されました。

現在お使いの「ふるさと帰還通行カード(桃色)」は10月31日まで使用できますが、11月1日からは新しいカードに切り替えとなり、現在のカードが使用できなくなりますのでご注意ください。

カードをお持ちの方には、登録された住所宛てに、更新の申し込み書が郵送されます。届きましたら、7月31日までに、村役場で手続きをしてください。



問 住民課住民係 ☎0244-42-1618

#### 中間指針第五次追補に伴う追加賠償のご請求受付開始について

2023年4月  
東京電力ホールディングス株式会社、福島原子力発電所  
追加賠償の請求を受け付けています。世帯分離の有無及び郵送先住所の確認のため、まずはコールセンター(☎0120-926-470)に電話をしてください。  
【請求受付開始時期】 WEBサイトの場合 ▶ 2023年4月10日(月)  
紙媒体請求書の場合 ▶ 届着の帰還先住所の届着後(※)より、開始となります。

### 4月の村の動きと主なできごと

- 30日・第3回飯館YOTTOKKO発見ツアー(村内各所)
- 26日・飯館村議会第3回臨時会(議場)
- 25日・飯館YOTTOKKO発見ツアー検討委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 23日・子ども読書の日 特別図書貸し出し(交流センター「ふれ愛館」)
- 22日・飯館村消防団 春季検閲式(飯館分署駐車場)
- 21日・子ども読書の日 特別図書貸し出し(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・民生児童委員総会(交流センター「ふれ愛館」)
- 20日・定例教育委員会(村役場)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 17日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)
- 15日・長泥行政区・特定復興再生拠点区域の避難指示解除日同意(村役場)
- 12日・食を考える会 総会及び交流会(田舎レストランラカッセ)
- 7日・までのりの里のこども園 入園式(までのりの里のこども園)
- 6日・食を考える会 総会及び交流会(田舎レストランラカッセ)
- 5日・鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式及び編成会議(村役場)
- 4日・教職員着任式(村役場)
- 3日・職員辞令交付式及び村長訓示(交流センター「ふれ愛館」)
- 3日・飯館村消防団辞令交付式及び消防車両交付式・配備式(交流センター「ふれ愛館」)

### 飯館復興の桜3年ぶりの「桜まつり」

會田征男さん・ツタ枝さん夫婦(伊丹沢)が震災前からコツコツ苗木を植え手入れを続けてきた桜の群生地『飯館復興の桜』。ソメイヨシノやオオヤマザクラなど約3,000本の桜が見事に咲いて、4月9日、実行委員会の主催で3年ぶりに桜まつりが開催されました。当日は、避難中の手入れに協力し現在も交流が続くボランティアの皆さんも駆け付け、美しい桜並木を愛でながら、交流のひとつを楽しみました。



一緒に活動する会員を随時募集しています。

### 「食を考える会」が交流会を開催

4月12日、「田舎レストランLaKasse(ラカッセ)」で、『飯館村食を考える会』が総会と交流会を開きました。交流会に招かれた杉岡村長は「全村避難の期間も含め、人の記憶に残る活動を続けていただいています。健康な食生活の推進はもとより、食を大切に楽しむ方々との交流にも期待しています」とあいさつ。菅野一代会長(比曾)が「全国組織に連なる誇らしい活動。若い世代を巻き込んで頑張っていく」と抱負を述べ、交流会をスタートしました。

### 満開!シバザクラのグラデーション

4月下旬、佐藤昌序(まさつぐ)さん・雪子さん夫婦(二枚橋・須萱)の庭が、花の盛りを迎えています。中でも見事なのは、玄関に向かうアプローチに連なるシバザクラです。濃い色から薄い色までさまざまな色あいの小さな花がみっちり咲いて、夢見るようなグラデーションを描いていました。佐藤さん夫婦は、避難指示解除と共に帰村して、庭の手入れを続けています。「花の好きな方には株分けもしますよ」と笑顔で話していました。



### 花木の庭とヤマザクラの共演

菊地廣行さん・利江さん夫婦(蕨平)の庭のシダレザクラが見事に咲きました。ハナモモやレンギョウ、周囲のヤマザクラも見頃で、何とも穏やかな美しい花景色が広がっていました。菊地さん夫婦は、農地を覆ったカヤを刈り、小さな畑も整えました。今年は早速インゲン栽培するそうです。廣行さんは「何もない所だと思っていたのに、離れてみて、ここがいかにもいい所だったか分かったよ。今は小さな苗木も、5年後10年後にきれいに咲いてくれるといいね」と話していました。

飯館村の鳥獣対策に力を合わせていきましょう!

飯館村鳥獣被害対策実施隊

令和5年4月5日に飯館村鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式が行われ、23人が隊員の委嘱を受けました。飯館村では、野生動物による被害を防ぐため、有害鳥獣の捕獲事業を行っており、実施隊の皆さんは、その捕獲活動や追い払いのためのパトロールに従事されています。実際の活動としては、ワナの管理や捕獲個体の止め刺しなどがあり、これらの作業を効果的にしかも安全に行うには、様々な経験や技術が必要になります。



委嘱状交付式に続いて開かれた編成会議の様子

隊長をサポートしながら活動に取り組んでいきたいです。

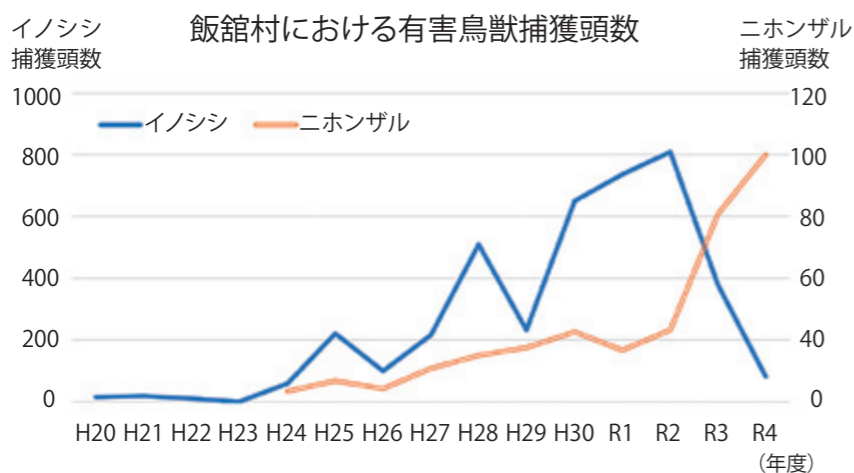


高野秀春 副隊長(大倉)

1頭でも多く捕獲し少しでも被害を減らせるよう努めたいです。



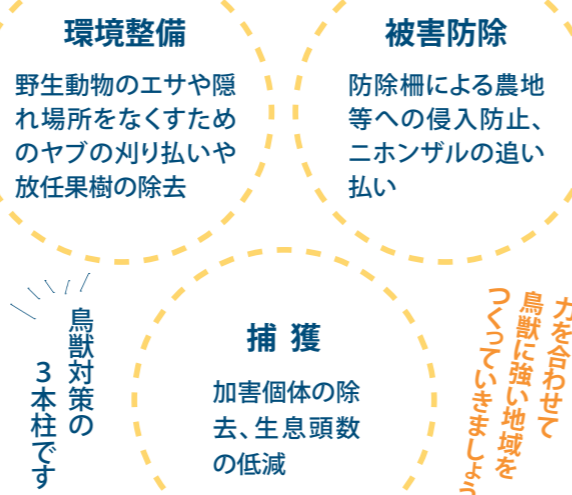
原田直志 隊長(深谷)



村の捕獲の取り組みは、東日本大震災後、平成24年5月から再開し、イノシシ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマ、タヌキ、カラスなどの捕獲を行っています。また、令和3年度からは、サル駆除プロジェクトのチームをつくり、ニホンザルの捕獲も強化しています。

対策の3本柱

鳥獣被害対策には「環境整備」「被害防除」「捕獲」の3つの柱があります。捕獲は重要な取り組みですが、実施隊の方々だけが頑張っても、被害を減らすことはできません。なぜなら、人の生活圏が野生動物にとって住みやすい環境だと、捕獲してもまた外から入ってきてしまうからです。例えば廃棄作物や放任果樹を周囲からなくすることができれば、ワナ以外にエサが無くなるので、効率よく捕獲ができるようになります。鳥獣被害を減らすためには、実施隊に頼りきりにならずに、村民全員で協力して鳥獣に強い地域をつくりましょう!



福島県避難地域鳥獣対策支援員 鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。

地域おこし協力隊  
いいたてDIARY  
ダイアリー

コーヒー屋の食堂&カフェ

始まります!土・日曜日はカフェ営業(午前10時~午後5時)、水・木・金曜日のお昼は食堂(午前11時30分~午後2時)という2つの顔を持ったお店です。\*月・火曜日は定休日。

つくり手の顔が見える野菜やコーヒーをなるべく使いたいと思っています。飯館村の野菜が入った「野菜多めランチ」は、ご飯や味噌汁を自分で取り分けられるスタイルです。人それぞれ胃袋の大きさが違いますよね。自分の好きな量を自分で取れるので、結果的にフードロスにもつながるのではと考えています! \*おかずは店主が盛ります。

お昼は家で食べちゃった!という人も大丈夫、平日の午後3時以降はゆるっとカフェタイム。友達とお茶したいなんて時にぜひ立ち寄ってくださいね。



さくっと  
食べたい  
飯館の  
町おこし  
隊

##  
コーヒー屋の  
食堂

月毎の営業カレンダーを店舗に貼っています。最新の営業日は店舗でご確認を。当面予約はなしで営業しますので、直接ご来店ください。



今月のライター  
飯館村地域おこし協力隊  
横山 梨沙 さん

ランチは  
売り切れ  
次第終了

コーヒー屋の食堂 飯館村草野字大師堂65  
休 月・火曜日定休  
時 午前11時30分~午後2時(日替わりランチ)  
午後3時~午後5時(カフェタイム)  
\*土・日曜日は午前10時~カフェメニューのみ

「飯館村地域おこし協力隊」の新規募集が始まります

令和5年度、新たに「飯館村地域おこし協力隊」の募集を行います。活動中または活動後に村内で起業する「起業型」の募集と、地域貢献を目的として村内の事業所に勤務する「雇用型」の募集を予定しています。任期はどちらも3年間です。応募方法などは詳細が決まり次第、飯館村HP「移住・定住ポータルサイト」などでお知らせします。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1622

“雇用型”募集に先立ち、協力隊の受け入れを希望する事業者さんへのご案内を行っています。どうぞお気軽にお問い合わせください。

おおきなキャンドル馬車にのせ  
作者・たむらしげる 作/偕成社発行  
こびとのニコさんと、ロボットのダダくんは、はちみつから大きなキャンドルを作り、馬車でどこかへ運んでいます。大勢の人達がイチゴを取っていたり、汽車にはたくさんさんのパティシエが乗っていたり...なんだか今日は特別な日みたいです。ぜひ手に取って、読んでみてください。

自分の名前に「ありがとう」を唱えると  
愛場千晶 作/コスモ21 発行  
人に対して「ありがとう」をいうことはよくありますが、自分自身に対して「ありがとう」を言っていますか?自分の名前に「ありがとう」をいうと素敵なことがたくさん起きます。この本を読めば、あなたも自分の名前に「ありがとう」を言いたくなるはず。

交流センター「ふれ愛館」だより  
村民の方からリクエストをいただいた購入した図書を2冊ご紹介いたします。  
自分の名前に「ありがとう」を唱えると  
愛場千晶 作/コスモ21 発行



未来を拓く春のトピック  
地道に果敢に挑戦を続けよう

第10回

杉岡 誠 村長の  
愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



飯館の春がいつになく急ぎ足で訪れ、桜咲く入園式、入学式も記憶に新しいところですが、もうすぐ新緑の季節となります。

この春のトピックと言えば、ご夫妻が植樹を始めてから25年の歳月を経た美しく壮大な景観、すでに飯館村の春の風物詩ともなっている伊丹沢地区の飯館復興三千本校です。4月8日の夜は若手有志「ふらつこ」によるライトアップ、9日は桜まつりと、飯館の春を「堪能」させて頂きました。4月初旬にお花見と春雪が重なったのは村の歴史でも初めてのことと思いますが、村内外の多くの方が集まってきたワクワクするひと時に「有難し」と感謝致しました。

桜が満開となった4月15日には、村・県・国の代表者が一堂に会して、村内唯一の帰還困難区域である長泥地区の避難指示解除について協議し、解除日時の同意を得た結果、5月1日午前10時に長泥地区特定復興再生拠点区域および長泥曲田公園の避難指示が解除されました。これまでの取り組み、これからの取り組みについては、紙面上その一端ではありますが、今月号の特集記事をご覧ください。この間、12年あまりの歳月を経る中、長泥地区住民の方々のふるさとへの熱い想い、いつも胸を打たれてきました。夢のあるふるさと長泥へ向かって、また村全体が「明日が待ち遠しくなるような、ワクワクする楽しいふるさと」に向かって、皆様と一緒歩んで参ります。

そして、24日には株式会社ハシドラック様と「飯館村内の生活環境の向上に関する基本協定」を締結いたしました。昨年5月からの協議が今回実を結んだもので、飯館村内への出店を進めたいと、こととなりました。これまで多くの村民の皆様からご要望をいただいております。新鮮食品、日用品のほか医薬品、クリーニング受付等を村内でお取り扱いいたたくほか、「村民の交流の場」としても活用いただけたらと思います。また村産品を他の店舗で販売することで、村の魅力を広く周知していくことも出来ると思う」という力強いお言葉を、橋浦希社長から頂戴しました。

いずれのトピックも「村の将来への布石」として大きな一歩となるものです。「ふるさと」の担い手たる多くの方が地道に、また果敢にチャレンジしてきた「開拓」の証(あかし)でもあります。

今後も「村民の今を支える」、「村の将来への布石」という二つの視点を持って、更に歩みを進めて参ります。

ひとのうごき

誕生おめでとう



赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
巻野 まほろちゃん	修一さん 敦子さん	伊丹沢



ひとのうごき 令和5年3月31日現在

人口	今月(前月比)	3月1日~31日までの人口動態
●男	2,393人(-4)	転入 9人
●女	2,374人(-10)	転出 16人
計	4,767人(-14)	出生 2人
世帯数	1,804戸(-1)	死亡 9人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ



氏名	年齢	行政区
三浦 千恵子さん	64	白石
菅野 操さん	91	蕨平
大澤 章男さん	67	草野
熊谷 マキさん	88	飯樋町
齋藤 ミツイさん	91	深谷
菅野 正三さん	93	比曾

ご冥福をお祈り申し上げます

(3月21日から4月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

お詫びと訂正

広報4月号P17の「村の組織と職員の配置」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(追加) までのりの里のこども園 佐藤朱美(任)

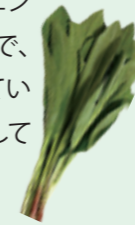
ふるさと資源

発掘図鑑!



#行者ニンニクラーメン

4月、いいたて村の道の駅までい館に、期間限定で『行者ニンニクラーメン』が登場しました。行者ニンニクは菅野隆幸さん(関根・松塚)が生産したものを使用。炒めた行者ニンニク、豚肉、モヤシをのせた醤油ラーメンで、新鮮な行者ニンニクの風味が活かされています。旬が短いため広報発行時には終了していますが、来春もぜひ!の逸品でした。



皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください!

飯館村広報委員会(村づくり推進課企画定住係)  
☎0244-42-1613

#山に花木を植えています



赤石澤備さん(上飯樋)は、自宅の周辺に多種多様な花木を植えています。4月上旬、その裏山では、シダレザクラとレンギョウが花の盛りを迎えていました。レンギョウは5年前から挿し木をして増やし、道の駅の直売所にも出品しています。「イチヨウ並木もつくりたいと考えています。将来は孫の世代が大切にしてくれたらうれしいですね」。

村民広報委員  
ふじおさんの



第10回

いいたて 宝さがし



牛の写真は磯山さんのInstagramからお借りしました。  
Instagram @isomisama

“一所懸命”

今回は若いカップルを紹介します。磯山一成さん、美幸さんご夫婦(大久保・外内)です。子どもは4人。一成さんは岡山県美咲町生まれの34歳。美幸さんは菅田地区(白石)出身で、故・菅野政雄さんの一人娘です。

一成さんが仕事で福島に来ている時に美幸さんと知り合い結婚し、2人で営農センターのアルバイトや除染の仕事をして、今は大倉地区の和牛繁殖農家で2人一緒に働き、将来は自分達で牛を育ててみたいと、楽しい夢を語ってくれました。ほがらかで元気な若いカップルです。

これからも飯館村に移住者が多くなる中で、一所懸命に働き生きている彼らを、どんな形でかずっと見守り、仲間として付き合っていきたいと思っています。

新しい飯館村の宝だと想います。

# 本格機材や営業許可が整っています 前進する加工施設「もりの駅まぐろ」

昨年8月に、加工施設としてリニューアルオープンした『もりの駅まぐろ』。運営するNPO法人「もりの駅まぐろ運営協議会」が、利用者のニーズをくみ取りながら、機材の導入や営業許可の取得を進めてきました。村民は当面無料で、会員以外も利用できます。利用方法などは協議会までお問い合わせください。  
**問** ☎090(7665)2002



取材に訪れた4月19日に施設を利用していた八巻静枝さん(草野/左)と鮎川会長。八巻さんは自家製の漬物を手際よく真空パック詰め。

昨年改修された施設に、食品加工やその保存に必要な設備・機材が充実。惣菜・漬物・菓子・製麺については食品製造業の営業許可も取得済みです。「村民が村民のために、地に足の付いたサービスができればと考えています。皆さんの食品加工の技術を生かしたい」と鮎川邦夫会長(小宮)。「移住をしてきた若い方達の参加もあり頼もしいです」と話していました。春から夏へ野菜の季節を迎え、施設利用の広がりに期待をしています。

全村避難で休業していた農産物直売所を令和4年に加工施設としてリニューアルオープンしました。



3月には施設利用説明会と販路開拓セミナーを開催。



5月4日には有志がマルシェを開催します。

## 〈編集後記〉

●今年、驚くほど早く、飯館村にも春が訪れました。ぼうぼうの日が続いて桜が咲いたな〜と思えば、雪が降ったり強風が吹いたり。自然の力に圧倒されながらも、「花粉症ではない」と自分に言い聞かせる毎日でした。春風に背中を押されながら、多くの笑顔が「広報いいたて」がお届けします。

ぜひ広報まで「こ来て！これ見て！」をお寄せください。(菅野) ●「きれいに咲いて、見頃だと思っの。写真を撮りに来ませんか。そんなうれしいお知らせをいただくことがあります。紙面を通して皆さんにも見てもらえたら…。想いのバトンを受け取りたくて、予定が入っていない限り、カメラを抱えて飛んでいきます。(星)

## 長泥の桜

こちらのQRコードから▶



美しく咲いた「長泥の桜」を、4月中旬に撮影しました。動画投稿サイトYouTubeの飯館村公式チャンネルでお楽しみください。



P4の特集記事、P12の関連記事もご覧ください。

「ネイティブスピーカーズ 飯館言葉の達人たち」はお休みします。

◀これまでの回はこちらのQRコードから。



飯館村 YouTube